

筑波大学交通問題についての意見交換の場としての電子フォーラムの可能性*

On the Internet forum as a place of the opinion exchange for traffic problems in Univ. Tsukuba*

城間太基** 石田東生***

By Tamoto SHIROMA, Haruo ISHIDA

1. はじめに

情報通信技術はめまぐるしく発達し、その申し子であるインターネットは、いっそう生活社会へ浸透してきている。また、地方自治体や中央省庁は、国民・住民の声に耳を向け、多様化したニーズに対応していこうと、Public Comment の募集や Public Involvement を進めている。そのための手段として、インターネットの利用も増加してきている。

筑波大学は開学 27 年目を迎え、経年劣化が進む一方、当初の計画と実際のキャンパスの利用のされ方には様々な違いが見られるようになってきた。このため、キャンパスのリニューアルプランを作成する活動が開始されたが、特に、研究・学習活動やキャンパスライフに大きな影響を及ぼさであろう駐車場有料化をはじめとした交通政策に関しての議論が先行している。また筑波大学では大学構成員全員にメールアドレスを与えるなど、インターネットを積極的に導入してきており、インターネット環境が整備されているといえる。本研究では、大学構成員から広く意見を集めるために、インターネットの活用を試みたものであり、そこで得られた知見について報告する。

2. 研究の目的と位置付け

インターネット上で議論を交わす電子フォーラムにも様々な形式（ネットニュース・BBS など）が存在する。佐藤は、それぞれの形式を比較することにより、「インターネットの特徴のひとつである“匿名性”を低くすることで、フレーミングがなくなり、責任ある発言がふえる」¹⁾ことを示

している。しかし、「匿名性が低くなると、新規参加が減少・特定の人による発言・ニッチ化と参加者が偏り、より限られたグループ内でのコミュニケーションになる可能性が高い」¹⁾としている。

神奈川県大和市は、インターネットを都市計画マスタープラン策定時における住民参加のひとつのチャンネルとして積極的に活用している地方自治体のひとつである。それを取りまとめる小林によると、「インターネットを利用するには、十分な量の計画情報を提供する体制を整え、公開性の確保に努める必要と、市民からの意見や質問を受け入れる体制を探り、通信の双方向性が確保される必要がある」²⁾としている。また、電子会議室の利用可能性については「コミュニケーションの受け手、送り手の固定化など解決すべき課題があるが、マスタープランニングの市民参加に有効に機能する可能性はある」²⁾としている。しかし、このような試みは、まだ新しい試みであり、同様な試みを幾度となく行い、様々なデータを収集・分析していく必要がある。

よって、本研究の目的は、大学コミュニティの議論の場として、キャンパスリノベーションプランに活用できるような有効な議論が行われ、かつ、できるだけ参加者の偏りがないように、電子フォーラムを設定することである。そのために、主催者側による情報提供や広報活動、広聴会が、電子フォーラムへの参加行動にどのような効果を与えるか分析する。また、電子フォーラムでの議論の流れ、参加者の意見の推移を分析する。

3. 電子フォーラムの設定

(1) 電子フォーラムの概要

今回の電子フォーラムは、「Campus Renewal 交通フォーラム」という名で、2000 年 10 月 10 日よ

* キーワード: インターネット、電子会議室
** 学生員: 筑波大学大学院社会工学研究科
*** 正会員: 筑波大学社会工学系教授
〒305-8573 つくば市天王台 1-1
TEL 0298-53-5591 FAX 0298-53-5591

り公開した。その構成は、主催者側から様々な情報が提供される「情報提供の場」、主催者と一般参加者による「議論の場」の2つに大別される。

また、どのような人々が、どのように電子フォーラムを利用しているか、また、どのような利用者が発言しているか、を把握するために、電子フォーラム内のトップページ・情報提供の場・議論の場の各々で、アクセスデータ（参加行動の記録）が取得できるように設定している。

(2) 情報提供の場の設定

主催者側からのお知らせや学内ニュースを提供する「最新情報」のページと、ひとつのページにひとつのテーマとなるように編集されたページ群で構成される「情報」のページというふたつのカテゴリーによる提供情報を行う。

(3) 議論の場（電子掲示板）の設定

「参加者相互の責任ある発言による議論を成立させる」ことと、「できるだけ大学構成員に対する偏りが少ない多くの参加者」となるように、議論の場として「Campus Renewal 交通フォーラム掲示板」を以下のように設定した。

2つの参加形態：まず1番目の参加形態として、責任ある発言をしてもらうために、発言するためには本名・メールアドレス・性別・居住地・所属を記入したメンバー登録の必要があるID制を採用した。この場合、プライバシー保護や、実社会での立場（教師・学生など）を利用した議論のバイアスを避けるために、本名・メールアドレス以外の情報は、基本的に公表されない。もうひとつの参加形態として、参加者に偏りがなくなるように、積極的に発言したくない、あるいは発言しないROM（Read Only Member）の人々の意見もできるだけ把握すべく、発言されたコメントに対して、IDがなくても3段階【拍手：納得：疑問】の意思の投票ができる無記名投票制を採用した。また、その結果は公表される。

ツリー形式：議論の流れ・発言コメント間の関わりが閲覧者に分かりやすいように、ツリー形式を採用した。また、新しく発言されたコメント・新しく返信がついたコメント群が、注目されやすいよ

うに上位にくるように設定している。さらに、無記名投票の結果は、即時に、各々の発言の左側に表示される。

自動ID登録：発言希望者がすぐにIDの発行を受け、いつでも発言できるように、発言するためのメンバー登録を自動化した。

(4) 情報提供・広報活動について

「Campus Renewal 交通フォーラム」の主催者が行った広聴会を含む広報活動の日程は表3、電子フォーラムでの情報提供の流れ・情報ページの更新状況は、表4のとおりである。また、「駐車場の整備と利用に関する報告（表2）」は、インターネットの特性を活かし、今回初めて配布可能となった。さらに、議論の進行等に役立てるため、電子フォーラムに蓄積されていく情報・データ・意見は、瞬時に検索可能のように検索機能を付けた。

表 1. 広報活動・広聴会の日程

平成12年10月10日	「Campus Renewal 交通フォーラム」の開催
平成12年11月13日	筑波大学新聞209号に開催のお知らせを掲載
平成12年11月24日	都市計画関連研究室電子掲示板などに告知
平成12年11月30日	つくばSTUDENTS通巻474に開催のお知らせを掲載
平成12年12月7日	一の矢学生宿舍地区広聴会
平成12年12月13日	平砂・追越学生宿舍地区広聴会
平成12年12月14日	第三学群地区広聴会

表 2. 情報ページの更新状況

「情報」の更新 ○：新規 →：継続	10月10日	11月1日	11月26日	12月15日
交通のルール	○	→	→	→
駐車違反について	○	→	→	→
学内連絡バス	○	→	→	→
キャンパスマップ	○	→	→	→
学内交通問題について		○	→	→
学内交通問題審議過程			○	→
交通規制マニュアル			○	→
駐車場の整備と利用に関する報告			○	→
ホームページ内検索				○

4. 情報提供・広報活動と参加行動の分析

(1) 分析のフレームワーク

ここでは、今回の電子フォーラムで取得したアクセスデータに注目して、主催者からの情報提供や広報活動・広聴会という活動が、電子フォーラムへの参加行動にどのような影響を与えたかを見ていく。なお、電子フォーラム開設時から、主催者からの情報提供や広報活動などの行動がなくなって1ヶ月が経過した2001年1月23日までのデータを用いる。アクセス数等の概要は表3のとおりである。

(2) アクセス数・発言回数

自治体等が主催する他の電子フォーラムへのアクセス・意見数(表 4)より少ないが、これはコミュニティ規模によるものと思われる。発言比率、一般参加者の発言割合(図 5)が多いことなどから、今回の電子フォーラムは、他のまちづくり等のフォーラムと遜色ない機能を満たしたと考えている。

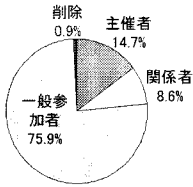


図 5. 発言者の属性による意見数の割合

表 3. Campus Renewal 交通フォーラムのアクセス

2000年10月3日～2001年1月23日		
アクセス	ホームページ全体	1,997
	電子掲示板	1,454
メンバー数		55
意見数		116
投票数		264

表 4. 地方自治体等との比較³⁾

	アクセス件数 (A)	意見数 (B)	期間	発言比率 (B/A)
大和市	12,701	297	1995.11-1996.10	2.3%
中央区	20,028	646	1996.02-1997.03	3.2%
東京都「考える会」	11,249	281	1996.06-1996.11	2.5%
藤沢市	14,601	1,681	1997.07-1997.12	11.5%
筑波大学「交通フォーラム」	1,454	116	2000.10-2001.01	8.0%

(3) 情報へのアクセス

情報提供の場における各ページの総アクセス数は図 6 のようになる。情報ページへのアクセスが多いことから、正確にまとめられた情報に対するニーズが高いこと、中でも、情報量もその信頼性も高いが、まとめて印刷して配布することが今まで困難だった資料、例えば「駐車場の整備と利用に関する報告書」のような情報に対して、特に需要があることがうかがえる。今回のようにインターネットを用いることで、そのような資料の配布が容易に行える。

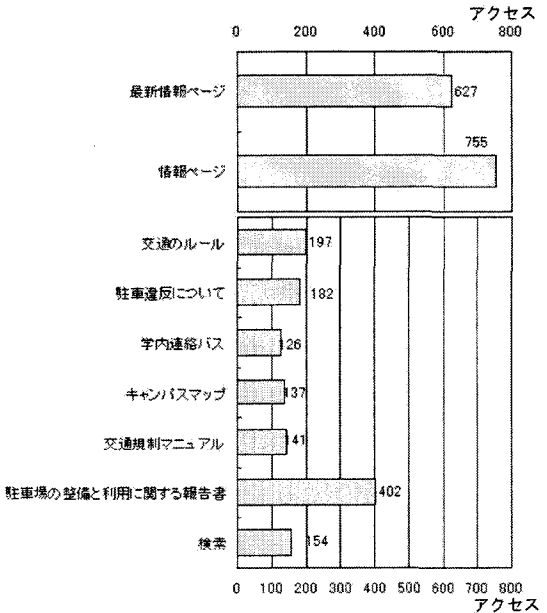


図 6. 交通フォーラム 各情報へのアクセス数

(4) 広報活動や情報提供、広聴会との関連

図 7 は、議論の場である電子掲示板へのアクセス数・メンバー登録数・発言数の毎日の変動を示した。大学新聞や広報誌への掲載及び広聴会の開催のあとにアクセス数等が増加することが明瞭に見てとれる。12月25日以降に表れているように、主催者が活動を止め何もせずにいると、すぐにアクセス数が減少したことが示されている。単に電子フォーラムを設置するだけでなく、主催者からの積極的で持続的な運営活動や働きかけが、フォーラム上の議論の活性化には必要である。

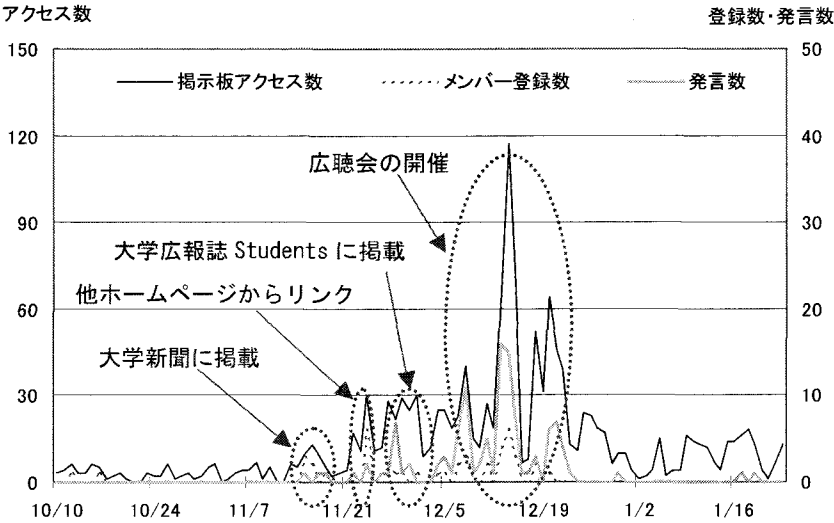


図 7. 交通フォーラム 掲示板アクセス数・メンバー登録数・発言数の推移

5. 発言内容・議論の流れの分析

(1) 分析のフレームワーク

ここでは、今回の電子フォーラムにおいて、主催者と一般参加者、あるいは一般参加者間で、どのような意見のやりとりが行われているかを見るために、広聴会前・開催中・後の流れに着目して、議論の流れ・意見の推移を分析する。また分析にあたって、議論の流れが見やすくするための図示化を、以下の過程により行う。

- 1: 発言番号順で、その発言ごとに、複数に分かれる意見はその内容により小テーマへと分解する。
- 2: 分解された意見ごとに、それがどのような意思表示なのかを判別して、チェックする。
- 3: 意見分解・意思判別チェックを繰り返す。続きとなる意見は、同じ小テーマに続けて並べる。
- 4: 発言全てに対して終えたら、似たようなテーマがとらえにくるように中・大テーマと階層化して、並べ替える。

代表的なテーマを抜粋すると、表8となる。

(2) 分析結果・まとめ

まず、広聴会の流れにそって議論をみていくと、広聴会前は、主催者からの問いかけ、一般参加者からの駐車場問題に関する現状報告がほとんどであり、その数も多くはない。広聴会開催中になると、出された意見が主催者側に認識されて、議論は、大学内の交通需要管理やこのフォーラムでの議論の仕方など、話題が多岐に広がる。そして広聴会後は、広聴会で行われた議論を電子フォーラム上で継続していくのが大半を占めるようになり、それぞれが相互補完となっていることが示された。

次に、各テーマの議論を追ってみていくと、以下のようにまとめられる。

- ・参加者の意見が分かれそうなテーマにおいては、今回は、ある一定の合意が見られるまでには至らなかった。しかし、参加者相互が、それを認識して、意見交換が行われる。
- ・あるテーマに関する発言に対して、主催者による承諾・さらなる関連情報の提供が行なわれると、それが一般参加者に認識されることで、そのテーマの議論が進展していく。そして、このような双方向コミュニケーションが成り立っている。

表8. 意見の推移・議論の流れ

大テーマ	中テーマ	小テーマ	発言番号	
駐車場問題	ゲート化	駐車場へのゲート設置	2 7 9 20 45 47 71 72 80 88	
		過半数議決料金	45 46 47 51 56	
		ゲートシステムの導入	48 50 80 83 85 92	
	有償化への疑問	有償化への疑問	18 20 47 74 80 88 103 116	
		受益者負担	72 120 73 23 36 39 41 73 78 91 101 116	
		料金が減額では	60 66 70 82 101	
		取り回し方法	83 88 116	
		不正利用者の排除	7 13	
		取り回し方法のデジタル化	74 75 116	
		駅強化	83 85 79 83 84 92 93 96 106 116	
		入場証	83 85 79 83 84 92 93 96 106 116	
		地域利用	21 26 37 71 80 90 91	
		指定と自由乗車	4 5 12 19 92 79 80 104	
駐車場の設置	駅周辺の設置	駅周辺の設置	62 64 104 106	
		駅周辺の設置	7 13 58 80	
		駅周辺の設置	15 19 116	
	2階席・立体駐車場	2階席・立体駐車場	3 4 7	
		駐車場の増設	3 4 7	
		現状維持・維持 駐車場の増設	4 3 15 16 17 18 19 20 50 68 72 88 95 107 112	
	交通需要管理	バス	サービスの充実・改善	22 23 28 41 67
			民間バス	23 73 87 101 105
			新乗車	36 40 41 67
		カーシェアリング	41 67	
交通安全	バゲットリアン	危険箇所	91 101 107	
		ループ道路	107	
		制限速度・危険箇所	8 11	
	広聴会	各自だけではないのか	8 11	
参加と自治	広聴会	収支差の反映	80 104 105 110	
		学費増減理由の検討	62 67 69 81 86 94 95 103 109	
		学費との連携	80 83 85 98 114	
	その他	フォーラム運営	フォーラムの開始・意見募集	40 44 65
	フォーラムでの議論の仕方	40 44 65		

【チェック記号】

- ★指摘・報告・コメント
- 賛成
- △反対付き賛成
- ×反対
- ◆主催者による意見承認(好意的)
- ▼主催者による意見受け止め(非好意的)